

## 福祉サービス第三者評価結果報告書（公表用）

### 【受審事業所情報】

事業所名称	高鷲保育園
運営法人名称	社会福祉法人 大阪福祉事業財団
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	園長 大橋貴美子
定員（利用人数）	150 名 （ 172 名 ）
事業所所在地	〒 583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番22号
電話番号	072 - 953 - 3883
FAX番号	072 - 953 - 3893
ホームページアドレス	<a href="http://www.takawashihoikuen.net/">www.takawashihoikuen.net/</a>
電子メールアドレス	<a href="mailto:takaho11@river.ocn.ne.jp">takaho11@river.ocn.ne.jp</a>

### 【評価機関情報】

第三者評価機関名	財団法人大阪保育運動センター 福祉サービス第三者評価事業室
大阪府認証番号	270042
評価実施期間	平成24年9月5日 ～ 平成24年12月15日
評価決定年月日	平成24年12月15日
評価調査者（役割）	0701C040 （ 運営管理・専門職委員 ） 1102C040 （ 運営管理委員 ） 1101C041 （ 専門職委員 ）

### 【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する 事業所の同意の有無	有
-------------------------	---

## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

当園は近鉄恵我ノ荘駅から徒歩7分の近距離にあります。静かな住宅地に立地しています。同法人の運営する養護施設が隣接し、広い運動場などを保育園の子どもたちも利用することができます。少し足をのばせば自然がいっぱい残った公園がいくつもあり、子どもたちにとって豊かな環境になっています。

4年前に建て替えたばかりの園舎は木のぬくもりがあり、玄関にはザクロやアケビ、子どもたちが掘ってきたお芋などが飾られ季節を感じさせる細かい気配りが伝わってきました。

子どもたちは朝から元気に園庭で遊び、リズムや散歩など身体づくりに力を入れている園の方針とおり、よく動き、しっかり給食を食べ、明るく伸び伸びと育っています。年長児が打つ和太鼓は地域や園の伝統として引き継がれ、年少の子どもたちの憧れと保護者の期待をいっぱい受けて取り組まれています。

府内各地に高齢、障がい、児童等21施設を運営する法人の中の保育園として、創立45年の歴史と経験がありますが、近年いっそう高まる保育園への期待もあり、管理職がリードしながら今まで積み上げてきた園の運営や保育の総点検を進めています。良き伝統は大切にしながら更にこれからの時代を見据えて職員集団で一つ一つ合意をつくり出してきています。

保護者との連携や地域とのつながりを深める努力もより積極的に展開されてきており今後がますます期待されます。

### 特に評価の高い点

保育では、しっかりとした身体づくりを大切にしています。自然の中でザリガ二つりやどんぐり拾いをして遠くまで散歩を楽しみ、竹馬も乗りこなしてその姿に幼稚園からは竹馬を子どもたちが教えあう交流にも招かれるなど、新たな幼保の実践の連携も生まれています。

「高鷲保育園といえば太鼓」というように、子どもも保護者も職員も運動会で行われる太鼓を毎年楽しみにしています。歴代続いて積み重ねてきた太鼓を大切にしながら、音の合う心地よさと達成感を感じ喜び合っていました。

もう一方で「食」について、子どもや保護者、職員が大切なこととして自覚しています。栄養士は「『給食はおいしくなければ』をモットーに身体の基本になるのが食事であり、和食を中心とした味覚をしっかりと乳幼児期に育てたい。そのことは大人になってわかるので大事にしたい」と熱く信念を持って語っていました。その想いが給食や保育のとりくみに生かされていました。

歴史を引き継ぎ、さらに求められている保育の実現に向け、着任2年目の園長を中心に職員がともに課題を共有化し、新たな努力を始めている姿も評価できる点です。

### 改善を求められる点

住宅地の保育園での送迎時における駐車問題は、どこの園でも共通の課題となっています。当園も地域の方たちや保護者の協力で円滑な駐車に努力していますが、今後さらに需要が増すことも考えられます。また、乳児保育の増大などから看護師やフリー職員の配置も課題となってきます。これらの改善などを隣接する同法人施設との連携なども視野に、大規模法人としての人的条件なども生かし、施設運営におけるいっそう円滑な人的・物的整備向上へ中・長期計画の充実も含め努力されることを期待します。

同時に、保護者が園に高い関心を寄せていることを大切にして、あらゆる場面で保護者への説明をいっそう丁寧に行うことによって、納得と共感を得て園運営や保育をすすめる、さらなる努力が求められます。

### 第三者評価に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審したことで、園の運営や保育全般について職員集団で振り返ることができ、その中で改めて園の良さや課題が明確になりました。高鷲保育園の保育理念は「子どもが喜んで通える保育園」「保護者が安心して子どもを預け、働き続けられる保育園」「地域の方々が安心して子育てできるように相談活動を広げ、気軽によりあえる保育園」「親も子も職員も共に育ちあえる保育園」ですが、保育を保護者と連携しながらすすめてきたことが園への大きな信頼につながっている事を保護者アンケートの結果から教えて頂き、地域の要求にも応えられる保育園としての役割とあわせて、今後さらに保護者や地域と共に歩む方向を模索していきたいと思えます。

また園の伝統として積み上げてきた身体づくりや和太鼓を第三者評価調査者さんから評価して頂いたことは嬉しく感じています。

園運営や保育内容についても、さらに高まる地域の期待に応えられる質の高い保育を目指して、職員集団で丁寧に合意をつくり出しながら集団の質も高めていけるよう努力していきたいと思えます。駐車問題等については保育園として最大限できることや、地域の方々と保護者のさらなる理解や協力も得られるよう様々な方向から中・長期的な計画をもって改善できるように努めていきます。

## 評価細目の第三者評価結果

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

判断基準項目	評価結果
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>法人として毎年、全職員に配布しているハンドブック（諸規程集）には日本国憲法から法人の綱領、沿革、定款、就業規則など必要な方針が記載されており、さらに保育園では職員に対して独自のハンドブックなども作成し、保育課程、保育目標、保育方針や職員の心得なども明示して配布し、研修時や職員会議でもたえず周知が図られています。利用者にも園のホームページや入園のしおりなどで、周知をはかっています。さらに地域や保護者に対しての意識的で積極的な取り組みを行うことで、園の特色が広く認知され、地域からもいっそう頼りにされる保育園へと発展することを期待します。</p>	

判断基準項目	評価結果
Ⅰ-2 事業計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p>法人としてすべての施設の事業計画を冊子として作成しています。保育園の中長期計画も策定されており、その計画にそった事業計画が、職員参加のもとで策定されていることが、職員会議録や職員ヒアリングでも伺えました。利用者（保護者）には年度はじめの「おたより」で周知し、事業ごとの取り組みに際して「お知らせ」していることが書類でもわかりました。一方で保育園は今後さまざまな事業を地域や保護者の協力のもとに実施することがいっそう求められることから、地域や保護者に対しては事業内容も含めてさらに積極的な周知への努力を期待します。</p>	

判 断 基 準 項 目		評価結果
I-3 管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a
評価機関コメント		
<p>管理者の責任を明確にした、職務分掌も策定されており、園長名での発信や発言も行っていることが書類や訪問観察時のヒアリングでも伺えました。</p> <p>園長は着任2年目ですが歴史や伝統は大切にしながら、今日の保育園運営管理における到達点をふまえ、「質」の向上に向けて、職員に信頼を寄せ、職員集団の形成をはかりながら地道に努力しており、リーダー性とその成果が芽吹き始めています。</p> <p>職員の自己評価表に「園長への要望事項」などの記載欄があり、管理職として職員と共に園づくりを行っていることも伺えます。経営や業務の効率化と改善もこの視点で充実に向けていっそうの努力に期待します。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

判断基準項目		評価結果
Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	a
評価機関コメント		
<p>大規模法人なので、法人としてたえず全体の経営状況の把握が行われ、保育園についても地域状況や独自の視点からの把握に努力しています。外部監査も個々の施設は法人の中で順番に受けており、施設ごとには毎年、税理士などによる経営分析を受けています。</p> <p>さらに園の管理職や職員が、急激に変化する国の保育制度が経営にどのように反映するのかについての状況把握にも努力することを期待します。</p>		

判断基準項目		評価結果
Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a
評価機関コメント		
<p>人事管理については、園としての考え方やプランは持っていますが、人事考課についての客観的基準は明示されていません。その都度職員に口頭で伝え、納得のもとに行っている人事管理についての基準を文書化し確立して提示しておくことが必要です。</p> <p>職員の就業状況については有給の消化率など細かく把握していますが、取得保障体制整備が課題といえます。</p> <p>職員の質の向上に向けては法人として方針を持ちシステム化しており、園としても職員の自己評価や管理職との個人面談などで本人の意向も尊重しながら課題にそって研修計画を策定し実施していますが、見直しなどいっそう継続的取り組みの充実を望みます。</p> <p>実習生の受け入れについてはマニュアルにそって適切に行っていることを書類でも確認しました。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
評価機関コメント		
<p>感染症対策は「支援ハンドブックⅡ」にマニュアルが明記され、職員に周知されています。感染症が発生した時も、すみやかにお便りや掲示で保護者に知らせています。災害時の対応も「入園のしおり」に明記され、新入園児への説明と在園児への配布を毎年度実施しています。</p> <p>ヒヤリハット、事故報告書、遊具の安全点検も記録され職員会議で共有化されています。避難経路については一定、確保されていますが更に様々な災害の状況を想定し、より適切な避難方法の検討と工夫が求められます。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	b
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
評価機関コメント		
<p>毎月、校区の福祉会に園長が参加したり、保幼小の懇談会などに参加して地域との連携を強めています。必要に応じて速やかに関係機関との連携をとることができています。地域子育て支援室もあり、福祉委員さんの協力も得ながら「楽しい親子教室」等の取り組みをしています。ボランティアの受け入れに関するマニュアルも作成しています。</p> <p>園庭開放や一時預かり等で園を利用する人の要求は把握して、園庭開放の回数を増やすなど、改善もしていますが、地域に出かけて行って潜在する要求を掘りおこす等の積極的な活動が今後期待されます。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント		
<p>「こどもの人権」について園内で研修をし職員で共有しています。「処遇憲章」にも明記され保護者にも知らせています。</p> <p>個人情報保護の規定はマニュアルを作成し職員に周知するとともに、すべての保護者について「個人情報の取り扱い承諾書」を受け取り保育園に保管しています。</p> <p>保護者と一緒に取り組む行事を大切にしながら行事の度にアンケートを実施して保護者の声を聴き反映させる努力が伺えました。また、今年度からは各クラスで「保育参加」を導入して、直接保護者に日常の保育を見てもらったり、意見を聞いたりできる機会を増やしています。</p> <p>苦情解決の仕組みは確立し、掲示もし意見箱も設置していますが、全保護者への周知という点に於いては、より丁寧な対応が求められます。</p>		



判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a
評価機関コメント		
<p>保育理念や基本方針に基づいて保育課程が作成されています。年間の指導計画を基本に年に二回の総括会議を行い、見直しや課題となる事柄を全職員で共有しています。また、1人ひとりの職員の自己評価も年二回取り組まれています。</p> <p>標準的な保育の流れや手立てについては「支援ハンドブックⅠ・Ⅱ」に明記されています。朝の受け入れから、延長保育への引き継ぎの仕方、留意点などが細かく明記され、実際の保育の場面でも実行していました。</p> <p>健康の記録、ケース会議記録、事故記録等、書類で確認しました。記録類は副園長の責任で事務室に整理、管理されています。また、家庭や子どもに関する情報は職員会議で共有されています。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント		
<p>入園希望者に関しては、園のしおり、ホームページ等でわかりやすく表示・説明しています。入園に当たっては「入園のしおり」に基づいて、園の決まりなどを丁寧に説明し必要な「同意書」はもらって保管しています。退園時の手順は「管理規程集」に明記されており、担当窓口は担任や副園長があたります。必要に応じて、引き継ぎの文書をつくるようにしています。</p>		

判 断 基 準 項 目	評価結果
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント	
<p>一人ひとりの子どもについて保育に必要な身体や家庭の状況を把握し「健康の記録」、「発達 の記録」に明示しています。</p> <p>「月別の指導計画」は、評価・見直しの項目があり、評価や反省に基づいて次の計画がたて られています。</p> <p>一方、クラスごとに「年間指導計画」「期別の指導計画」「週案」を作成していました。こ れまでの「期別の指導計画」は「毎月の指導計画」に見直し、充実がはかられました。今後も よりいっそう適切な指導計画の策定と見直しが行われることを期待します。</p>	

## 児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判断基準項目		評価結果
A-1 保育所保育の基本		
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	b
A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a
評価機関コメント		
<p>保育課程は、児童憲章や児童福祉法、保育所保育指針に基づき編成しています。</p> <p>環境整備では、園舎が建て替えられて清潔感を維持しています。</p> <p>生活面では、乳児期から子どもの主体性を尊重して年齢にふさわしい自立に向けた保育がおこなわれていました。乳児期から人形を保護者に作ってもらい、みだてつもりあそびを楽しみ子どもたちが落ち着いて遊ぶ姿がありました。また、グループ別での少人数の保育が行われ、子どもたちが落ち着いてあそび、生活できる環境になっています。</p> <p>幼児では、「身体づくり」に力をそそいできた成果から、どの子もたくましく、明るく元気いっぱいでした。さんまパーティーの翌日にさんまの絵を描き、「静」の活動を取り入れ、その後リレーなど「動」の活動を組み合わせ保育の展開がされていました。一方、他クラスでは木製遊具のサーキット遊びをとりくみ、子どもが渡る活動や跳ぶ活動など工夫がされて子どもたちは楽しんでいました。話が聞けることや、友だちと関わる力を各年齢にそった指導の中で子どもたちが力をつけています。各年齢での当番活動では、友だちの数をかぞえ教材を配るなど数の認識も深めていました。また、友だちの中で自分の言葉で思いを話すことを大切にしており、意図的に計画性をもった保育が取り組まれていました。</p> <p>一方、あそびの展開では、これまで以上に、遊びの持つ特性を考慮した保育の工夫が求められます。そのことによって「みんなで遊べる活動」がより豊かに展開でき、子どもたちも集中して活動に取り組めるでしょう。また、子どもが考え、気持ちに折り合いをつける時間を「待つ」対応などにいっそうの工夫を期待します。リズムなどの身体表現活動や描画や太鼓など子どもたちがのびのびと表現できるとりくみがされていますが、さらにいろいろなおもちゃで遊んだり、楽器にふれる機会がもてるように、遊具やおもちゃ、楽器を充実させていくことを望みます。</p> <p>職員は自ら総括会議で実践を振り返り、集団的に討議もできています。今後自己評価にあたり課題がより具体的にまとめられればいっそう職員間の共通理解が深まるでしょう。</p>		

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-2 子どもの生活と発達		
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a
評価機関コメント		
<p>子ども一人ひとりのうけとめは丁寧にしており、子どもの自立を促すように保育をしています。</p> <p>障がい児保育では、保護者と園が子どもにとっての環境を十分に話し合い保育をおこなっています。集団の中で友だちと楽しく、生活面にも配慮して生活している姿がうかがえました。今後、障がい児の生活の場が2階になると、階段を上ることなど配慮が必要になってくるので人的保障や保育の工夫が求められます。</p> <p>長時間にわたる保育では、空間と子どもの人数に配慮して異年齢の保育がおこなわれていました。朝、夕の子どもたちの部屋の移動では人数確認を行い子どもたち一人ひとりへの声かけなど保育については丁寧に行われていることを観察しました。</p> <p>健康管理については、日々スキンシップを図りながら、子どもの様子を観察して対応ができています。保護者への伝達も引き継ぎノートを活用しておこなわれています。</p> <p>食事に関しては、どの年齢の子どもたちも美味しい給食なのでよく食べていました。食育では三色栄養の話を担当と栄養士が意思統一し、子どもたちと取り組んでいます。子どもたちも自分の身体のことや栄養のことなどを理解し「塩は何色かな」と子どもが調味料に興味を持ち三色栄養と結びつけて考えています。また、クッキング保育では、2歳児以上から栽培をして、育てることと料理する楽しさを友だちと共有していました。</p> <p>幼児は広い空間で食べていましたが、乳児室はあそび空間と食事の空間にわけられているものの、やや狭い状態になっているので空間づくりの工夫が求められます。</p> <p>アレルギーも半年ごとに保護者から意見書をだしてもらい丁寧な対応をしていました。誤食がないように2重3重のチェック体制を取ってミスが起こらないように職員間で意思統一もしています。</p> <p>給食室は保健衛生に関して大阪府から知事表彰をうけるなど、とてもきれいに清掃し管理しています。</p>		

判断基準項目		評価結果
A-3 保護者に対する支援		
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a
評価機関コメント		
<p>食材についても国産のものを使い産地を明記し、食器も陶器やメラミンを使用しています。それらを含む食事に関することを給食日より伝え、保護者が安心して興味が深まるようにしています。</p> <p>保護者アンケートからも給食に関しての高い信頼が寄せられています。</p> <p>運動会や発表会、たてわり保育、幼稚園との交流など様々なとりくみも、写真をまじえて保護者にわかりやすく紹介しています。</p> <p>保護者に対する支援では、保育参観や懇談会、保育参加をおこない子どもの成長をよこびあえることを大事にしていますが、行事や保育内容の変更などについては、保護者とのいっそう緊密な連携をはかり充実することを期待します。</p> <p>虐待では、職員間での子どもの観察をしっかりと行い、不審な点を発見した時は関係機関と連絡を取り早急に対応していく体制をとっています。</p>		

判断基準項目		評価結果
A-4 子どもの発達・生活援助		
4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
評価機関コメント		
<p>体罰の禁止は、法人のハンドブックの就業規則にも明記し、管理規程集の「虐待防止マニュアル」にも記載しています。保育会議で子どもの人権について討議を行い、感情をどのようにコントロールして指導していくかを具体的に出し合い深めています。</p>		

## 利用者(子ども)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

調査対象者	
調査対象者数	人
調査方法	

### 利用者への聞き取り等の結果（概要）

--

## 利用者(保護者)への聞き取り等の結果

### 調査の概要

調査対象者	保護者
調査対象者数	137世帯
調査方法	在園する137世帯の保護者にアンケート用紙を園から配布してもらい、回答は直接評価機関へ返送してもらった。

### 利用者への聞き取り等の結果（概要）

回答は在園児世帯の81パーセントであり、園に対する保護者の関心の高さや園から保護者へのアンケート協力依頼における周知度を反映しているものと思われます。

回答の中身はおおむね保育園と保育内容に対する信頼が述べられていました。給食については「旬の食材でバラエティー豊か」「給食の工夫が子どもの話からも伝わる」「集団生活の中でも一人ひとりのことも見てくれ個別のケアもしてくれる」「自然の中でのびのびと過ごし体力もつき運動機能も伸びた」などの信頼が述べられていました。

一方で、保護者の声に対しての園としての敏速な回答や対応を求める要望も一定数ありました。「行事の変更」「写真代金」「職員の退職や交替」など、保育園としては保護者に伝えて納得してもらっていると思っている内容なども「クラスによって差がある」など保護者の十分な理解にはつながっていない現実もあるようです。保護者の評価が大変高かった給食についても日々の献立内容への質問なども出ており、日常的な職員と保護者の会話で補うなどの工夫を期待します。

保育園の管理運営や保育事業、保育内容について園としての方針を保育者を通じて保護者と共有化する点でのいっそうの努力が必要と思われます。

8割もの人たちが回答を寄せている保護者の積極性を大切にして、その保護者と共に、子どもを真ん中に、いっそう保護者と力を合わせて子ども達の健やかな成長と保育園の発展を築かれるよう期待します。